

田舎暮らし体験ツアー

小野町の 自然や暮らしとふれあう

町とふるさと暮らし支援センター主催の「田舎暮らし体験ツアー」が昨年11月19日から20日にかけて行われました。

震災以降、初の開催となった今回のツアーには、首都圏在住の11人が参加しました。

初日に行われた歓迎昼食会では、町長や議長、緑川小野町ふるさと暮らし支援センター理事長が、歓迎の言葉と震災後の小野町の現状や農作物などの安全性について話をしました。

参加者は、木の実クラフト、うどん打ちやけんちん汁などの田舎料理作り、野菜の収穫などを体験しました。また小野町へ移り住んだ方を交えて懇談会を行い、積極的に質問をしていました。

- 1_野菜の収穫体験
- 2_木の実クラフト体験
- 3_ツアーに参加した皆さん



△工夫を凝らしながら料理する子どもたち

グランプリに輝いたチーズ鍋▷



土なべ料理コンテスト

鍋を囲んで温まりましょう

子どもたちの創造力を活かした「土なべ料理コンテスト」が昨年11月27日、緑とのふれあいの森公園で開かれました。

このコンテストは、地産地消の啓蒙と新たな郷土料理を創造しようと、公園の管理運営を行っている日本全業工業株式会社が主催したもので、町内外の小学校から10チーム・40人の子どもたちが参加しました。

保護者の方の応援を得ながら、苦手な野菜をおいしく食べるための工夫や、ニンジン星やハートの形にしたり、シイタケに文字を刻んだり、具材を「小野小町」に見立てるなど、見た目にも楽しい鍋が出来上がりました。

完成した10種類の鍋は、みんなで試食し、それぞれの味をお腹いっぱい楽しんでいました。

冬本番。家族や仲間と鍋を囲んで温まりましょう。

あとがき

旧年中のご心労を心からお慰め申し上げ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一年の始まりを告げる初日の出。今年は見られたでしょうか。

「冬はつとめて」と清少納言も枕草子でうたっています。私も、冬の早朝、特に日の出前の冷たくて凍らした空気がとても好きです。その空気を切るように差し込む朝日もまた、とても神聖なものに感じられます。

今年一年が、希望に溢れた年になりますよう、日の出に願いを込めて…。

(か)

広報
おのまち
2012年1月号No.587

編集と発行／小野町役場 企画商工課
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92
TEL 0247-72-2111(代) FAX 0247-72-3121
ホームページ <http://www.town.ono.fukushima.jp>
メール info@town.ono.fukushima.jp
※記事については、常用漢字・人名用漢字で記載しています。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。